

EST普及推進フォーラム アンケート集計結果

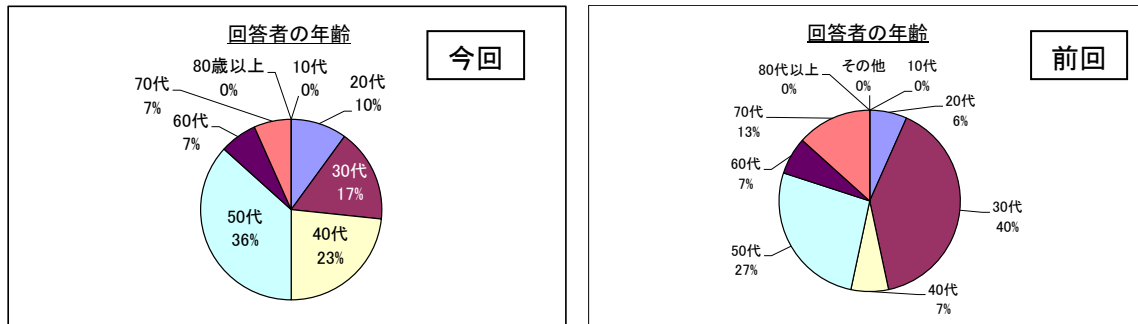
(今回総数 32 件)

(前回総数 14 件)

※2021 年度に開催した「第 12 回 EST 交通環境大賞表彰式・記念講演」を「前回」、「第 13 回 EST 普及推進フォーラム」を「今回」とする。前回は出演者を除きオンライン開催であり、質問内容が前回と異なる場合には、前回質問を記載している。

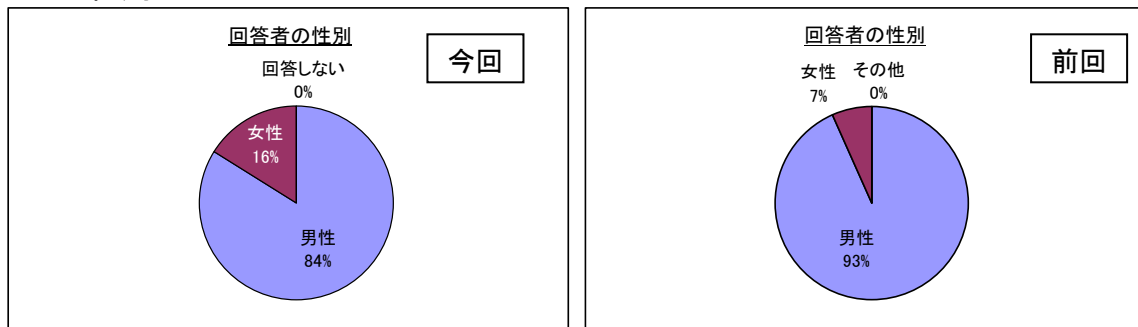
I あなたご自身についてお聞きします。

Q 1 年齢



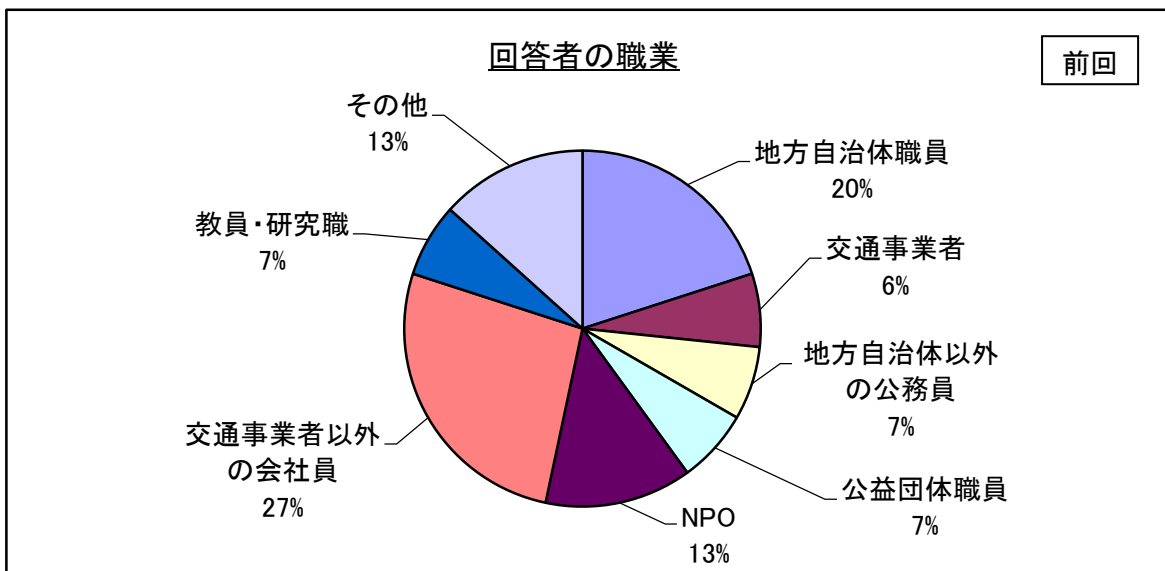
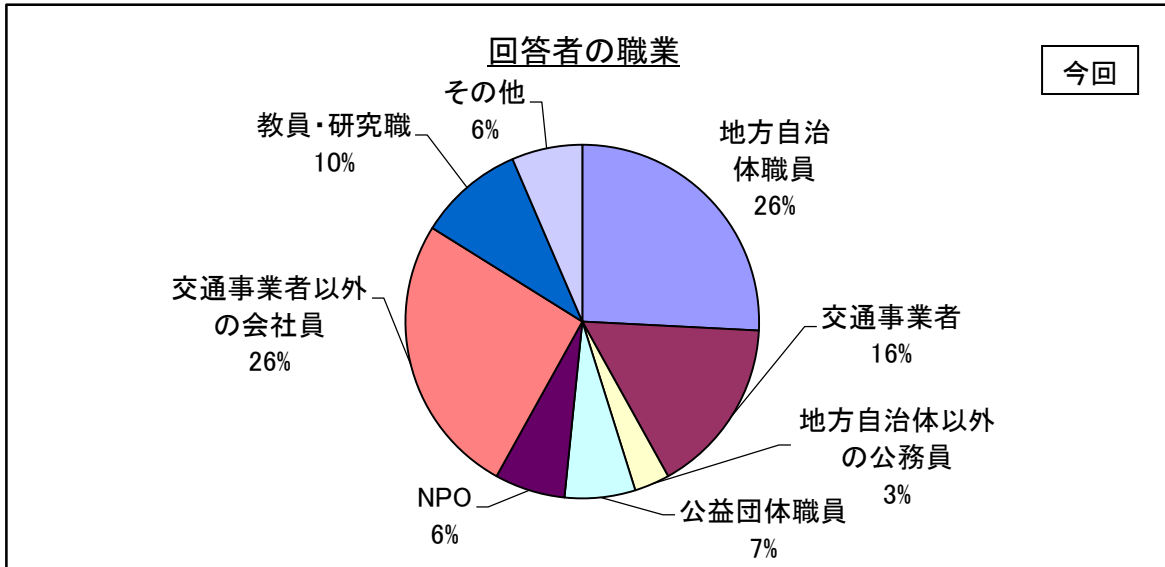
・前回と比べて「30代」の割合が減少し「40代」の割合が増加しているが、各世代からの参加があった。

Q 2 性別



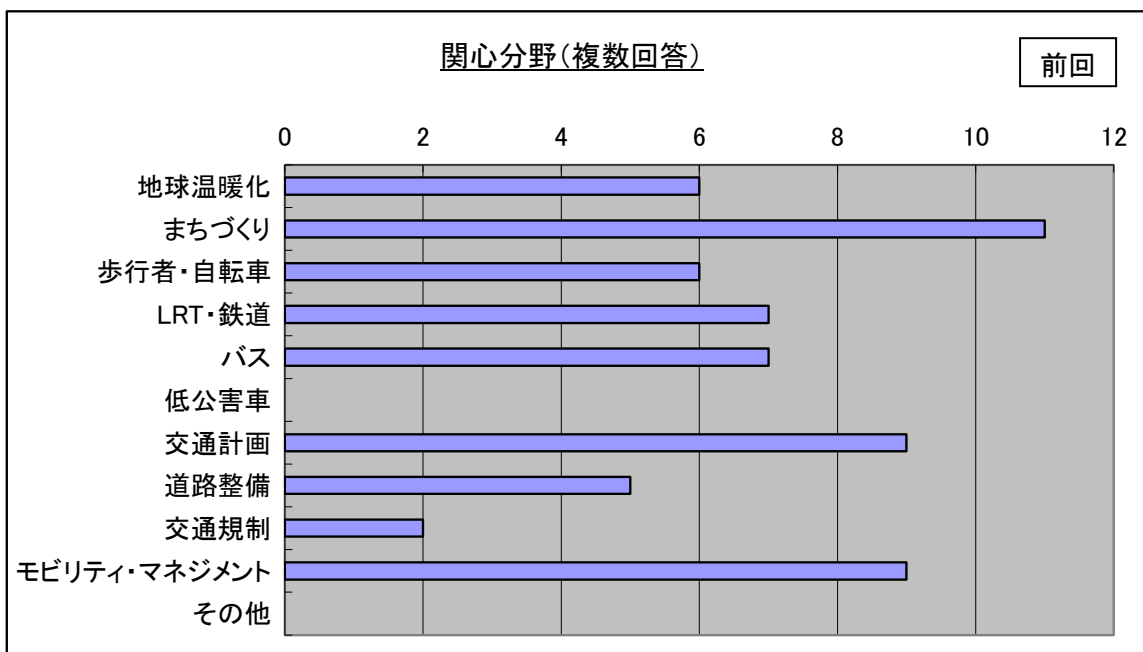
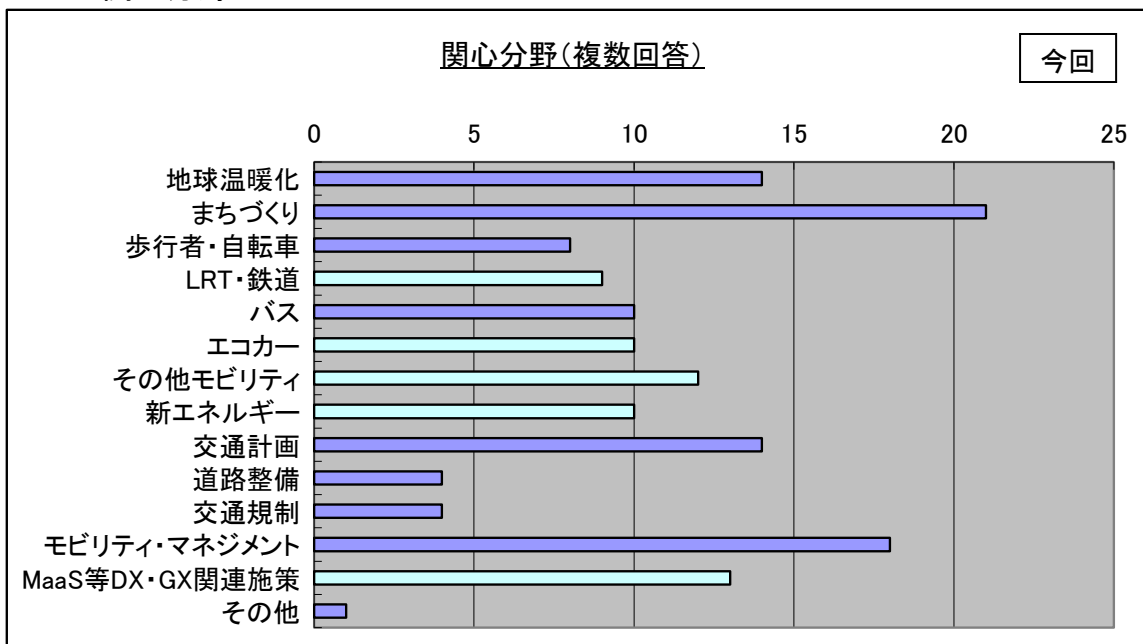
・前回と同様、「男性」の参加者が多くなっている。

Q 3 職業



- ・ 主な参加者は、「地方自治体職員」、「交通事業者以外の会社員」である。前回と比較して、「交通事業者」の割合が増加し、「NPO」の割合が減少している。

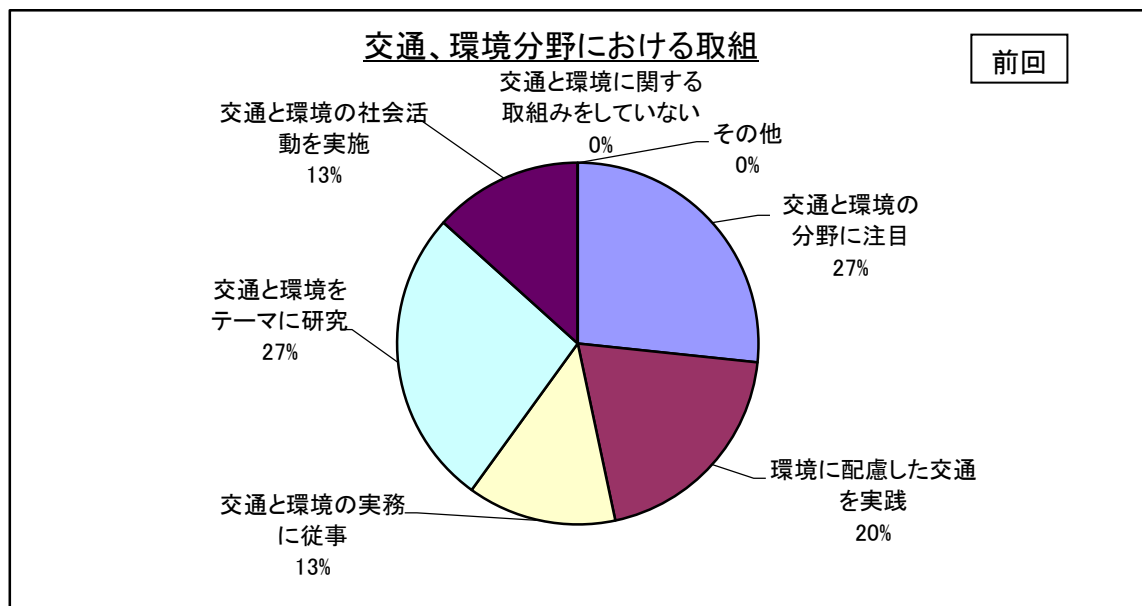
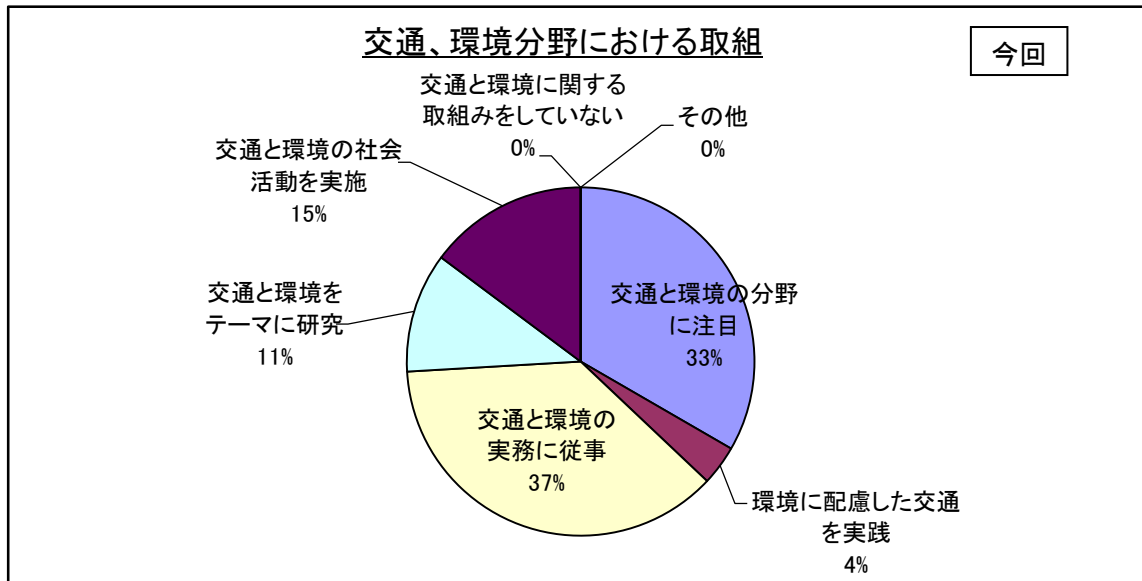
Q 4 関心分野



- ・ 前回と同様、「まちづくり」、「モビリティマネジメント」に興味があると回答した参加者が多かった。また、新たに追加した項目では、「MaaS等DX・GX関連施策」や「その他モビリティ」に興味があると回答した参加者が多かった。

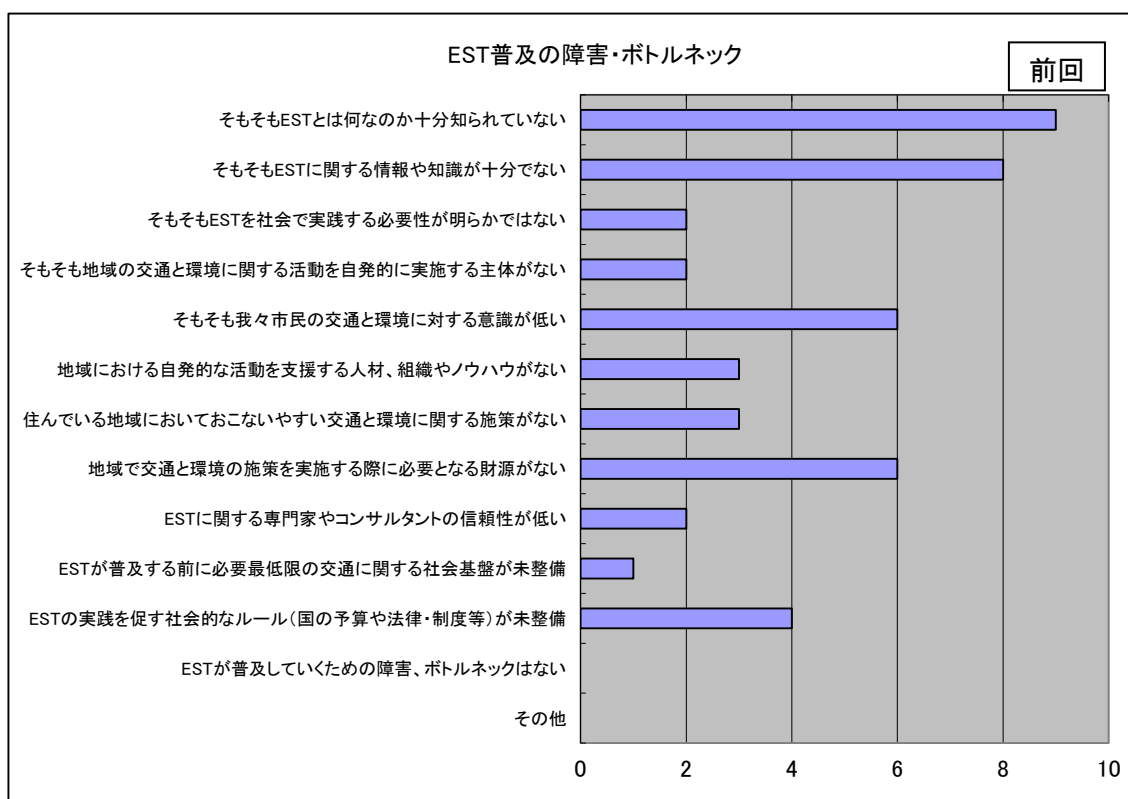
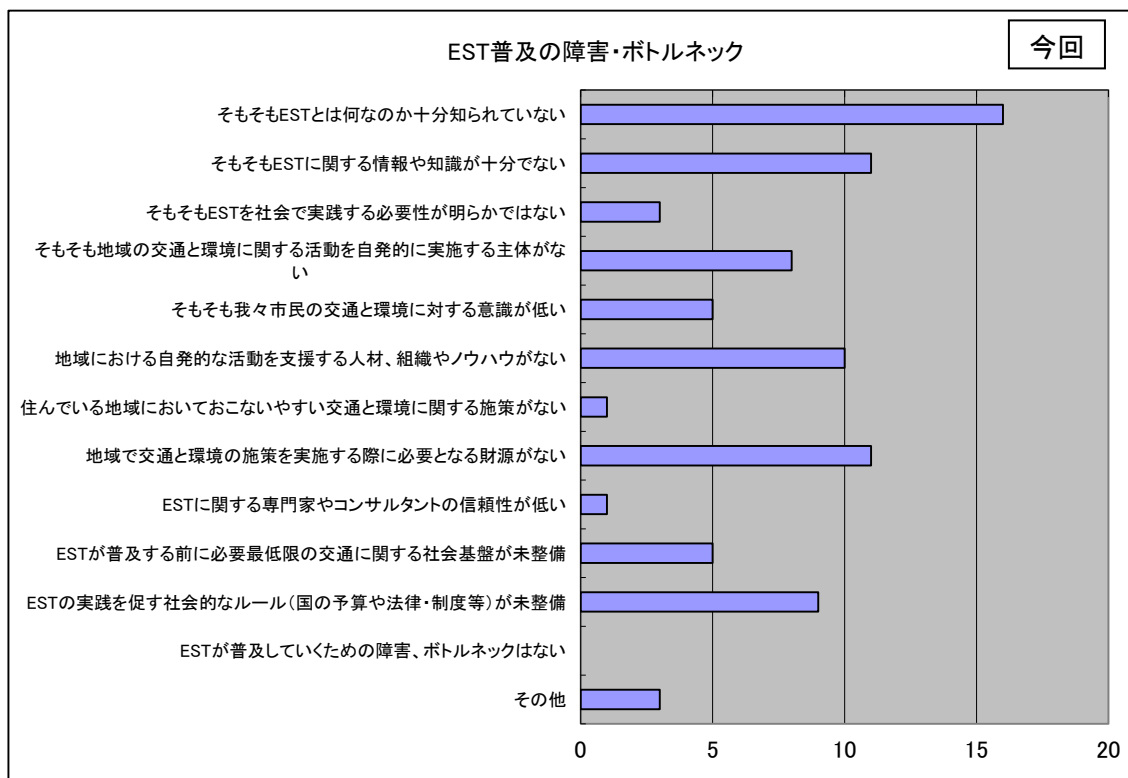
II 本日のシンポジウムのテーマであるESTの普及推進についてお聞きします。

Q1 現在、あなたは交通と環境の分野において、どのような取組みをしていますか？



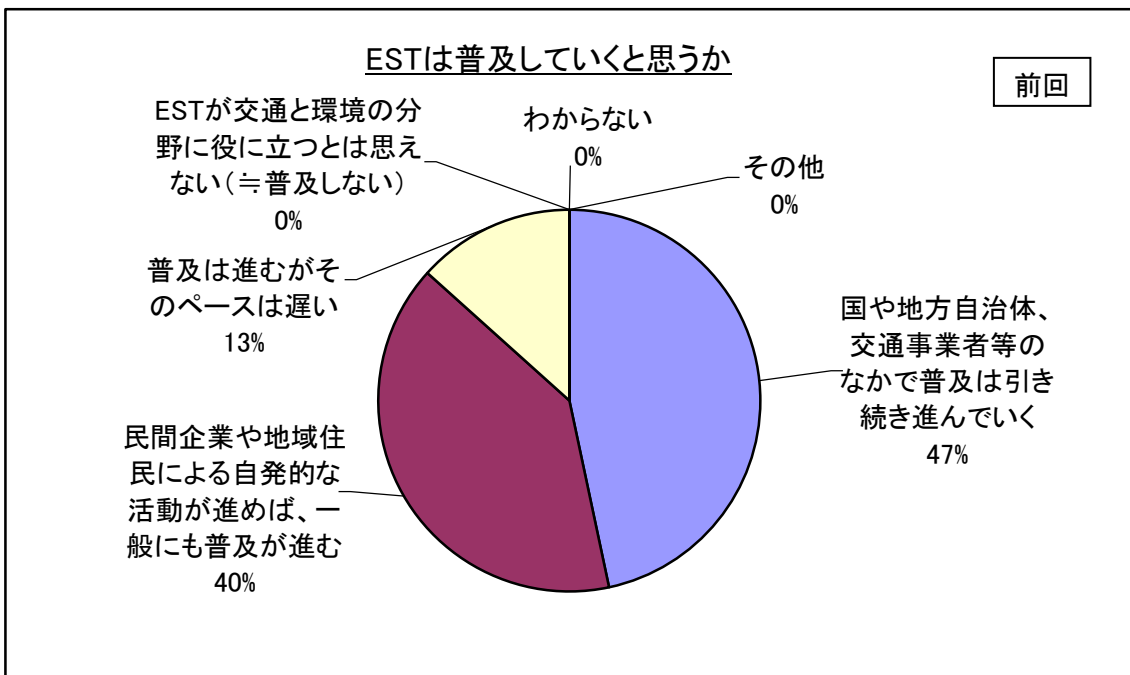
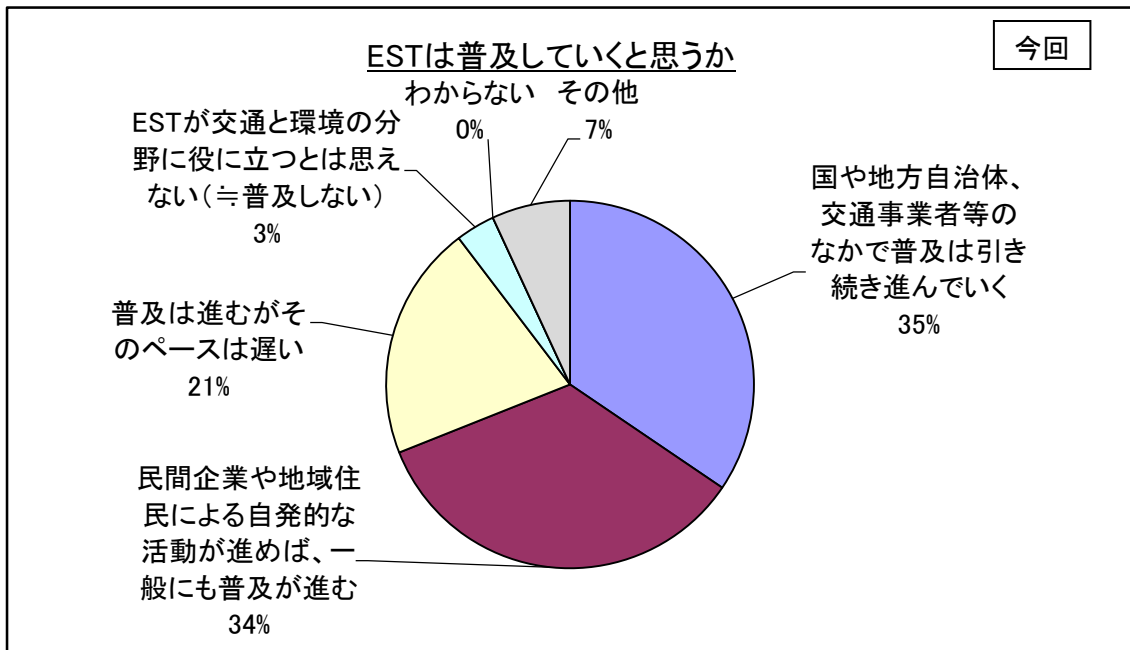
- ・ 現在参加者が取組んでいる活動は、前回と同様、「交通と環境の分野に注目」と回答した参加者の割合が多かった。「交通と環境の実務に従事」している参加者の割合が増加し、「交通と環境をテーマに研究」している参加者の割合が減少した。

Q2 現在、ESTが普及していくためには、何が障害、ボトルネックになっていると日頃お感じになりますか？



- ・ EST普及の障害、ボトルネックについて、前回と同様、「そもそもESTとは何なのか知られていない」と回答する参加者が多かった。

Q3 今後、ESTは普及していくと思いますか？

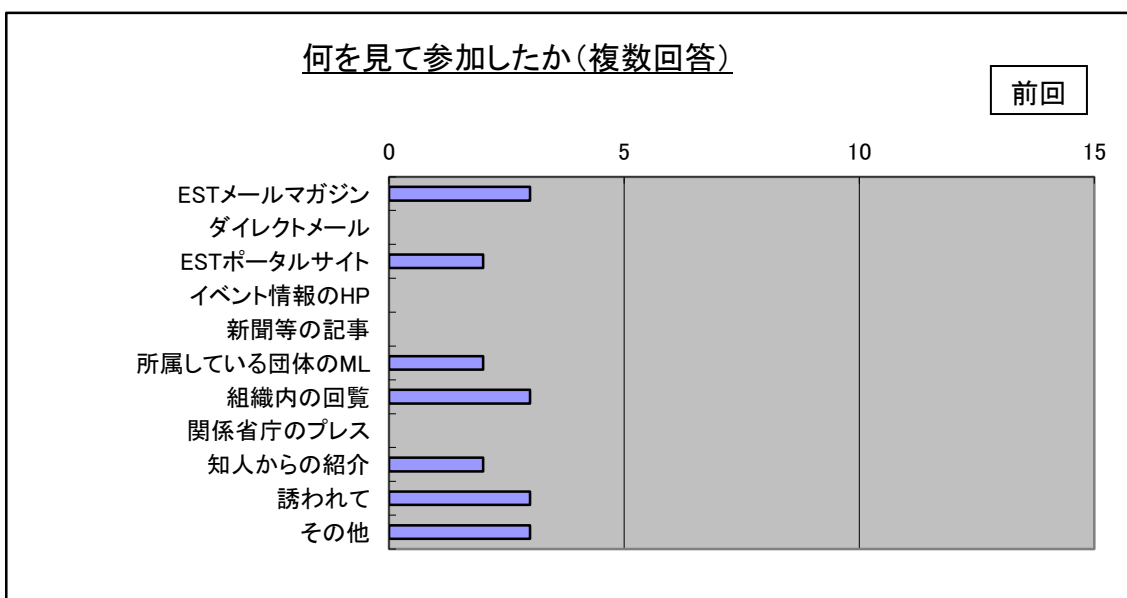
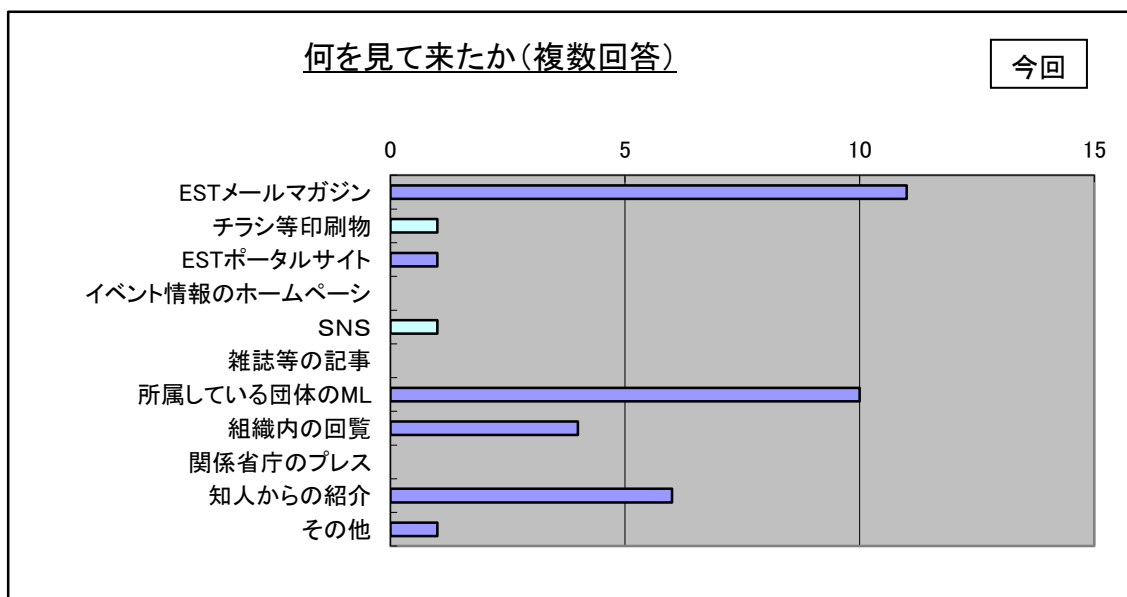


- ・ ESTの普及に関して、前回と同様、「国や地方自治体交通事業者等のなかで普及は引き続き進んでいく」と考えている参加者の割合が最も多かった。

Ⅲ 本日のシンポジウムについてお聞きします。

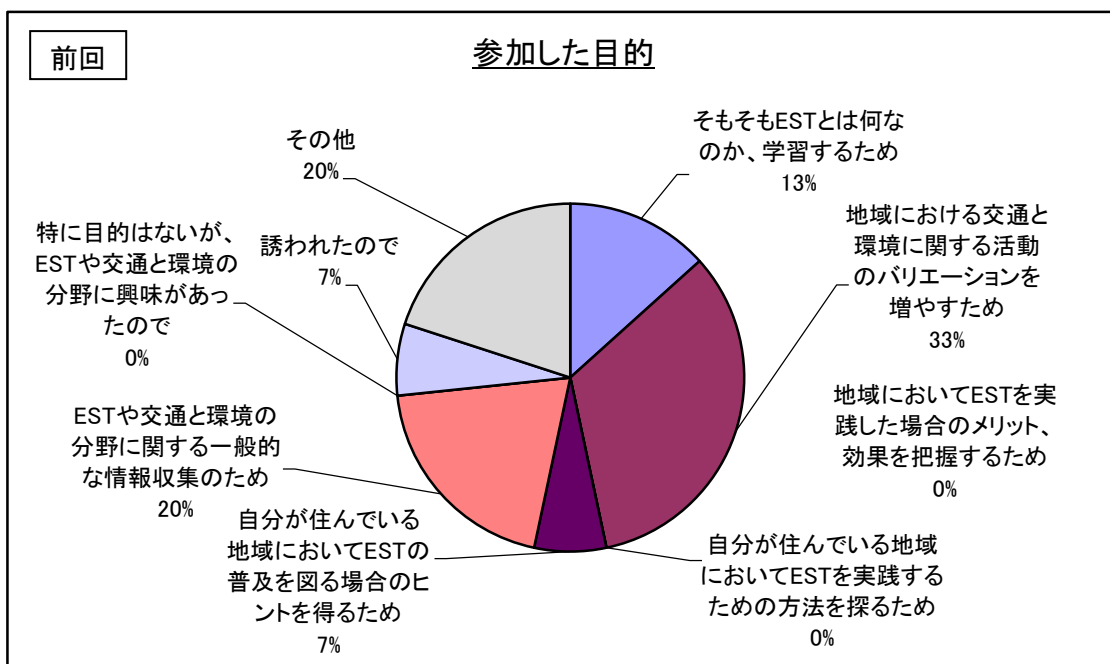
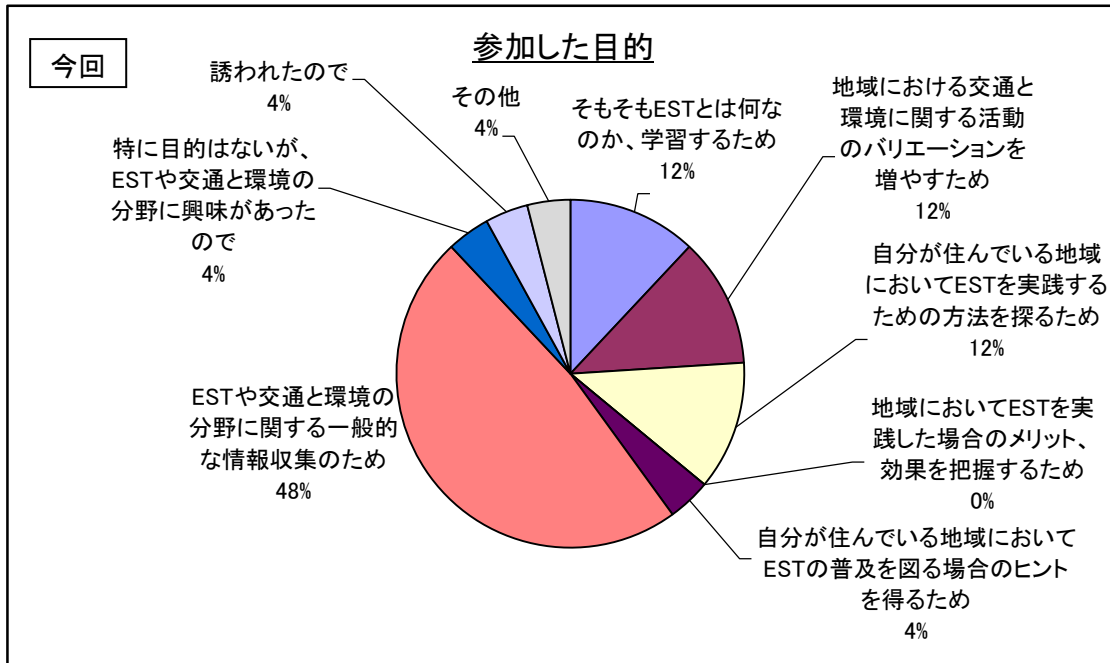
Q 1 何を見て来られましたか？

(前回質問：何を見て参加されましたか？)



- ・「ESTメールマガジン」と回答した参加者が最も多く、次いで「所属している団体のML」と回答した参加者が多かった。

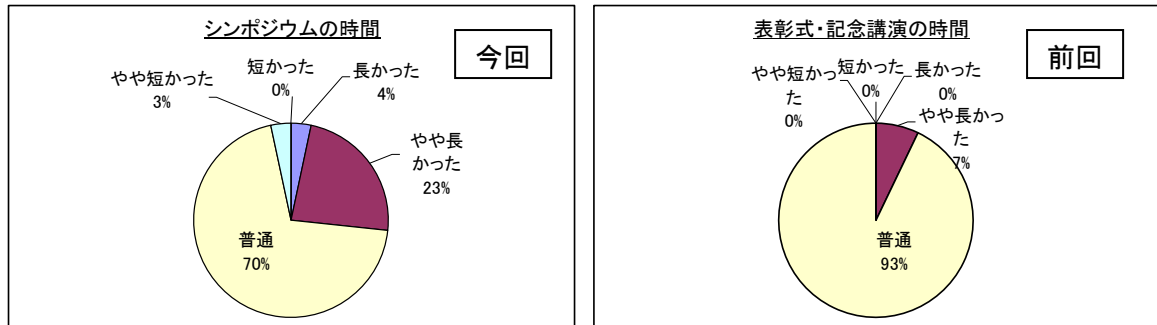
Q 2 今日のシンポジウムに参加した一番の目的は何でしたか？



- ・「地域における交通と環境に関する活動のバリエーションを増やすため」に参加する参加者が減少し、「EST や交通と環境の分野に関する一般的な情報収集のため」、「自分が住んでいる地域において EST を実践するための方法を探るため」に参加する参加者が増加した。

Q 3 今日のシンポジウムの時間の長さはいかがでしたか？

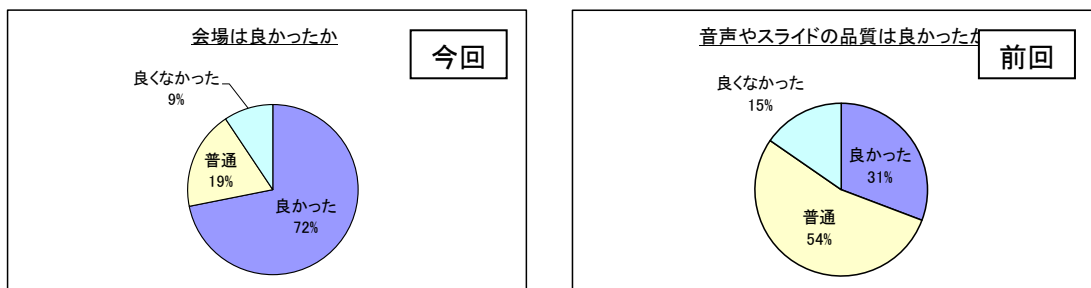
(前回質問：今日の表彰式・記念講演の時間の長さはいかがでしたか？)



- ・前回と同様、シンポジウムの時間は「普通」と回答した割合が最も多かった。また、「やや長かった」と感じる参加者の割合は前回に比べて増加した。

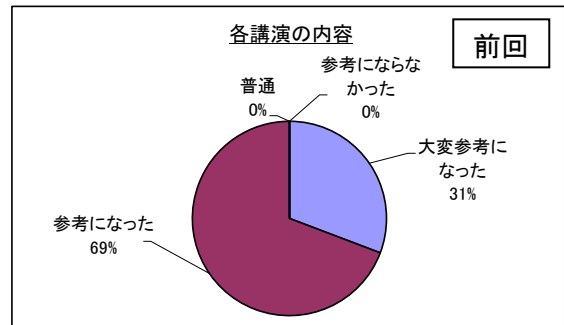
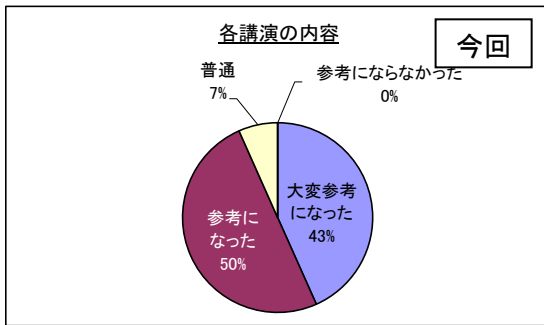
Q 4 会場はいかがでしたか？

(前回質問：音声の聞きとりやすさやスライドなどの見やすさはいかがでしたか？)



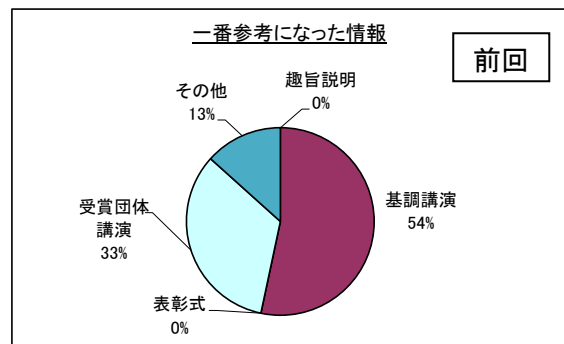
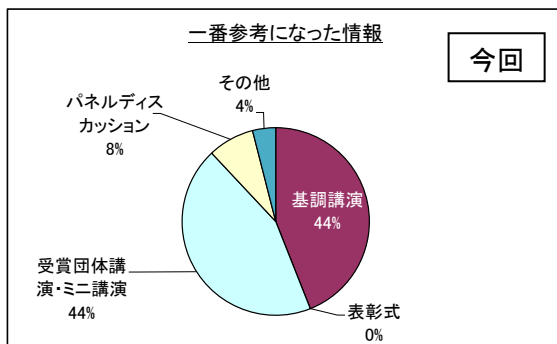
- ・会場は「良かった」と回答する参加者の割合が多く、前回よりも増加した。

Q 5 各講演内容はいかがでしたか？



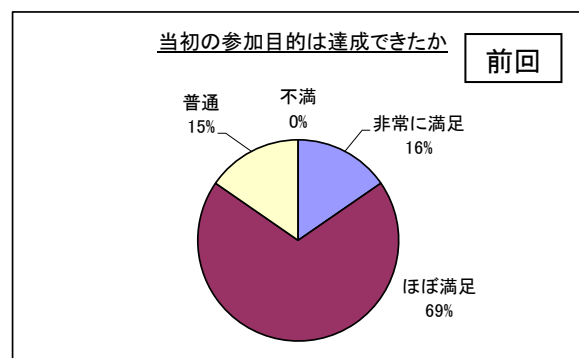
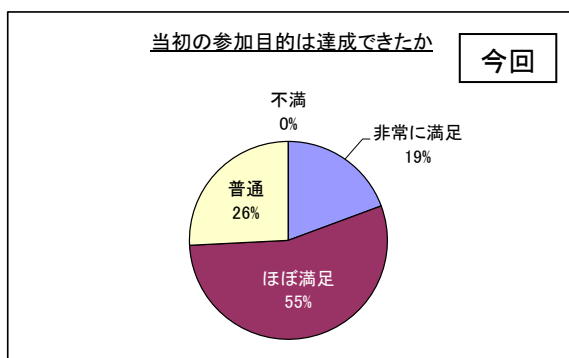
・前回と同様、各講演内容は「参考になった」、「大変参考になった」と回答した参加者が9割以上を占めた。また、「大変参考になった」と回答した参加者の割合が増加した。

Q 6 一番参考になった情報は何ですか？



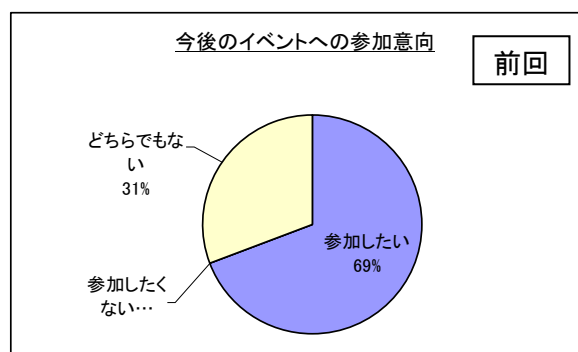
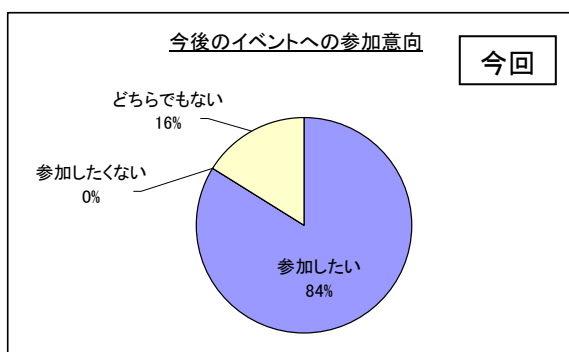
・「受賞団体講演・ミニ講演」が参考になったと回答する参加者の割合が最も多く、次いで「基調講演」、「パネルディスカッション」が参考になったと回答する参加者の割合が多かった。

Q 7 総合的に、今日のシンポジウムに対する当初の参加目的は達成できましたか？



・前回と同様、総合的に「非常に満足」、「ほぼ満足」と回答した参加者の割合が多かった。

Q 8 今後のEST関連の各種イベントへの参加意向についてはいかがですか？



・EST関連の各種イベントに「参加したい」と回答した参加者の割合が増加した。

以上

Q9 主な自由意見（今後取り上げて欲しい交通と環境に関するテーマ、日ごろお感じになっている EST に関する課題など、ご意見がございましたらご自由にお書き下さい。）

- 各自治体等で、素敵な取組を行われていたので、市・町・村民の環境意識の向上をどう取り組まれているのか気になりました。
- 運輸事業者の関心は 2025 年問題。人手不足に一点集中する昨今。輸送システム、路線等の効率化で人手不足が解消かつ環境にもいい的な取組を照会していただくと、我々も喰いつく。
- 各活動の認知を上げる必要を感じる。マスコミ媒体の参加が少なく、世間の注目を浴びる為の努力も必要と感じる。
- ビジネスとして成り立つのか、財政的視点も伺いたい。また、他の地域への適用が可能か、そのためにはどのような条件が必要か知りたい。
- 自転車専用レーンの整備を拡充し、自転車通勤の推奨（自転車通勤でも手当支給）が進んで欲しいと感じた。
- 観光・地域産業と交通を結びつけるために、どのようなモビリティが欲しいか、必要か取り上げていただきたいと思いました。
- CO₂ 排出量のスコープ 3 の算定と LCA の違いをより深く知りたいと感じました。
- 交通分野のカーボンニュートラル対応の今後（政策、計画）について知りたい。
- EV 車両などの廃車などの利用後のカーボンニュートラルの活動などあればありがたいです。今後も宜しくお願いします。
- 持続可能な料金設定について知りたい。
- 地域のステークホルダー（特に住民）にとって「カーボン・ニュートラル」は活動のモチベーションとなっているのか？
- 交通の持続性とのギャップ、矛盾について知りたい。
- カーボンニュートラルに関する講演なので、資料のデジタル版（リンク）の配布も参加申込の返信メールに添付いただき、紙資料との選択制にしてほしかった。
- 空調が強すぎたのがカーボンニュートラルの観点からも気になりました。（周りの男性も寒そうにしていました）
- せっかく人々が集まったのに、パネルディスカッションの時間が不足していると思いました。

以上